資料１

令和４年 11 月 16 日
新潟県ＳＤＧｓ推進本部

新潟県庁ＳＤＧｓ行動宣言（案）

本県の最上位の行政計画である「新潟県総合計画」では、各施策とＳＤＧｓの 17 ゴールとの関係を示し、ＳＤＧｓの視点を踏まえた計画の推進を図っているところです。

また、今年５月、優れたＳＤＧｓの取組を提案する地方自治体として「ＳＤＧｓ未来都市」に選定されました。

県が、率先してＳＤＧｓ達成に向けた取組を進めていくためには、職員が一丸となって取組を推進していくことが重要であることから、職員の取組姿勢を明らかにするため、**「新潟県庁ＳＤＧｓ行動宣言」**を策定することとします。

１　ＳＤＧｓについて

ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015 年９月の国連サミット加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030 年を年限とする 17 の国際目標が決められています。

２　ＳＤＧｓ達成に向けて取り組む背景

（１）国のＳＤＧｓ実施指針

地方自治体におけるＳＤＧｓ達成に向けた取組は、人口減少、地域経済の縮小等の地域課題の解決に資するものであり、地方公共団体においては、部局を横断する推進組織の設置などによる体制づくり、各種計画へのＳＤＧｓの要素の反映、多様なステークホルダーとの連携などが期待されています。

（２）新潟県総合計画

ＳＤＧｓ達成に向けた取組は、持続可能なまちづくりにつながり、県の最重要課題である人口減少問題を始めとする本県が抱える地域課題の解決に資するものであり、本県としても積極的にＳＤＧｓの取組を推進していく必要があります。

（３）新潟県ＳＤＧｓ未来都市計画

２０３０年のあるべき姿として、人口減少・少子高齢社会にあっても、全ての県民がそれぞれの地域で、将来にわたり安全に安心して住み続けられる、「豊かな自然としなやかに共存する、住んでよしの新潟」の実現を目指します。

３　ＳＤＧｓ達成に向けた行動

＜県政運営の視点から＞と＜県民の視点から＞の２つの視点から以下のとおり行動します。

新潟県庁ＳＤＧｓ行動宣言

＜県政運営の視点から＞

● ＳＤＧｓの理念や背景を理解し、関連性を意識して業務に当たります

＜取組例＞

・関連するＳＤＧｓのゴールだけでなく、ターゲットや指標も意識し取り組む
・庁内各部局や他県等の取組について情報を収集する
・職員を対象とした研修の実施や情報提供を行い、職員の理解促進に努める

● 各種計画へのＳＤＧｓの趣旨の反映に努め、各取組を推進します

＜取組例＞

・ＳＤＧｓの趣旨の反映を前提にして、計画策定（改定）作業を進める
・計画に、「ＳＤＧｓの趣旨を踏まえて計画を推進する」旨を明記する

● 施策の実施に当たっては、ＳＤＧｓとの関連を明示するなど、普及・啓発に努めます

＜取組例＞

・啓発、報道資料等外部に発出する資料を作成する際は、関連するＳＤＧｓのゴールを明記する
・施策の説明等を行う際には、ＳＤＧｓに関連付けて周知する

● ＳＤＧｓを共通のキーワードとして、県民、企業、団体、大学、市町村など様々な主体と連携し、課題解決に向けた取組を進めます

＜取組例＞

・一般社団法人「地域創生プラットフォームＳＤＧｓにいがた」等ＳＤＧｓ達成に向けた活動を行っている団体と連携する
・日頃から、様々な主体のＳＤＧｓに関連する活動について情報収集を行う

＜県民の視点から＞

● 日々の生活において、率先してＳＤＧｓを意識した行動に努めます

＜取組例＞

※「～県民に呼びかけている～　新潟県ＳＤＧｓ達成に向けた取組一覧表」（別紙）の取組について

・自ら実践する
・周りの人々に勧める

＜別紙＞

令和４年11月16日現在

ゴール	取組名	内容
3　すべての人に健康と福祉を		
	健康づくり県民運動「健康立県プロモーション事業」	県民の健康寿命を延伸させ「健康立県」を実現するため、5つのテーマを設定し健康づくりの県民運動を展開します。 健康立県にいがた　5つのテーマ ＜食生活＞　からだがよろこぶ一皿を足そう ＜運　動＞　意識一つですべてが運動になる ＜デンタルケア＞　あなたのための、歯のプロを ＜たばこ＞　たばこのない一服もある ＜早期発見・早期受診＞　健診・検診で未来の自分を見つめよう
	２月と９月は「新潟県高齢者見守り強化月間」	毎年２月と９月の「新潟県高齢者見守り強化月間」は、県民総ぐるみで高齢者の見守り意識を高めていくための取組です。 あいさつ・気くばり・支え合いの輪を広げて、地域の高齢者をみんなで温かく見守りましょう。
	にいがたヘルス＆スポーツマイレージ事業	楽しみながら運動や健康づくりに取り組めるよう、ウォーキング・健康アプリ「グッピーヘルスケア」を運用しています。 ウォーキング等の運動、スポーツイベントの参加や健康診断の受診などの健康活動に取り組みましょう。
	交通安全運動の推進	交通安全に対する理解を深め、交通ルールの遵守と正しいマナーの実践を推進することにより、交通事故防止の徹底を図っています。 歩行者・横断歩行者等の保護、飲酒運転の撲滅、夕暮れ時の早めのライト点灯などを実践し、安全運転に努めましょう。
4　質の高い教育をみんなに		
	総合的な探究（学習）の時間・課題研究	総合的な探究の時間（総合的な学習の時間）・課題研究において、多くの県立高校等がSDGsに関する学習に取り組んでいます。 子どもたちの取組に関心をもち、応援しましょう。
5　ジェンダー平等を実現しよう		
	男女共同参画の推進	家庭、職場、地域社会等、あらゆる場面で、男女がお互いを尊重し、性別にかかわりなく、それぞれの個性や能力を活かした多様な生き方を認め合いましょう。
6　安全な水とトイレを世界中に		
	水環境の保全	地域で親しまれている湧水や清流を「新潟県の名水」として県内外へ情報発信しています。また、「水生生物調査」など、水とふれあう機会を増やす取組を行っています。 水環境への関心を高め、豊かな自然に恵まれた水環境を守っていきましょう。

ゴール	取組名	内容
8　働きがいも経済成長も		
	わくわくワークにいがたキャンペーン	毎年10・11月に政労使で一体となって、働き方改革推進に向けたキャンペーンに取り組んでいます。 キャンペーンのコンセプトである“みんなで取り組む、みんなに「いい働き方」”の実現に向け、職場のみんなで働きやすい職場づくりに取り組みましょう。
11　住み続けられるまちづくりを		
	県民一人ひとりの防災意識を高めよう！（防災意識啓発事業）	県や市町村が実施する防災セミナーやシンポジウム等に積極的に参加し、地域での防災活動の重要性について考えてみよう。
	防災シニアリーダー実践サポート・キャリアアップ事業	「にいがた防災シニアリーダー」養成講座等を受講し、地域の防災活動の企画・運営を担う人材を目指してみよう。
	棚田みらい応援団	企業や学生ボランティアによる棚田保全活動を通じて、都市と農村の交流を促進し、持続可能な地域づくりに貢献する取組です。 棚田保全活動に取り組みましょう。
12　つくる責任つかう責任		
	残さず食べよう！新潟県民運動	家庭や外食での食べ残しをなるべく減らし、環境にやさしい生活を実践していただけるよう呼び掛けている運動です。 ご家庭では食材を上手に使い切り、買い物では、すぐ食べるときは消費期限・賞味期限の近い手前に並べられているものから「てまえどり」、外食では食べきれる量をオーダーしましょう。 「ぜーんぶおいしく食べきり隊」隊員募集中です。
	エシカル消費の推進	「エシカル消費」とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。 リサイクル商品やフェアトレード商品の購入、地産・地消の推進など、日々の消費行動を通して「エシカル消費」を実践しましょう。
	消費者志向経営の推進	「消費者志向経営」とは、消費者との共創・協働により事業者の社会価値を向上させる経営です。 持続可能な社会の実現のために、事業者は積極的に環境問題への貢献、地域社会の活性化など、どのような社会を目指したいのかを示し、消費者は消費者志向経営に関心を持ちましょう。
	食品ロス削減に向けた取組	食品ロス削減につながるプラットフォームを展開する企業と連携して、まだ食べられるにも関わらず通常の流通経路では販売できない食品の活用に取り組んでいます。 県民全体で未利用食品の有効活用に取り組みましょう。

ゴール	取組名	内容
13　気候変動に具体的な対策を		
	にいがたゼロチャレ３０	温室効果ガスの排出を少しでも削減し、将来の世代に自然豊かな環境を引き継いでいくため、私たち一人ひとりができる取組です。 アプリで楽しみながら、「にいがたゼロチャレ３０」にチャレンジしましょう。
	行政手続のオンライン化 ～紙の申請書類作成不要、来庁・郵送不要、手数料のお支払いもキャッシュレスで～	各種行政手続がオンラインでできます（一部を除く）。 紙の使用や移動に伴う環境負荷の削減につながるオンライン申請を利用しましょう。
14　海の豊かさを守ろう		
	プラスチックを含む海岸漂着物対策 ～美しい海岸を守るために～	海洋プラスチックごみをはじめとする大量の漂着物が流れ着き、自然環境等の悪化が問題となっています。 プラスチックごみなどの海岸漂着物を減らすため、マイバッグやマイボトルを使う、ポイ捨てしない、清掃活動に参加するなど、身近にできることから取り組みましょう。
15　陸の豊かさも守ろう		
	県産材利用の呼びかけ	木材を使って森を育てることは、CO2の吸収や、国土を災害から守るといった、森林の持つ多くの機能の発揮につながり、住宅に木材を使うことは、炭素を長時間貯蔵し、カーボンニュートラルにも貢献するので、積極的に県産材を使いましょう。
	環境学習施設における生物多様性の学習	外来生物の侵入や各種開発、地球温暖化等による環境の変化で生物多様性の危機が叫ばれています。 環境学習施設である「浅草山麓エコ・ミュージアム」、「愛鳥センター紫雲寺さえずりの里」で実施している企画展示や体験型プログラムに参加し、生物多様性に対する理解を深めましょう。
16　平和と公正をすべての人に		
	「防犯機能付き電話買おうぜ」キャンペーン	特殊詐欺被害防止には、犯人からの電話を直接受けない対策として、防犯機能付き電話機の設置が有効です。 防犯機能付き電話機を利用しましょう。
17　パートナーシップで目標を達成しよう		
	ＳＤＧｓ推進建設企業登録制度	ＳＤＧｓ推進に向け積極的に取り組む県内建設企業を後押しするため、「ＳＤＧｓ推進建設企業」として登録し、情報発信をしています。 登録企業のＳＤＧｓ推進に向けた取組を知り、地域を守る建設業への理解を深めましょう。